

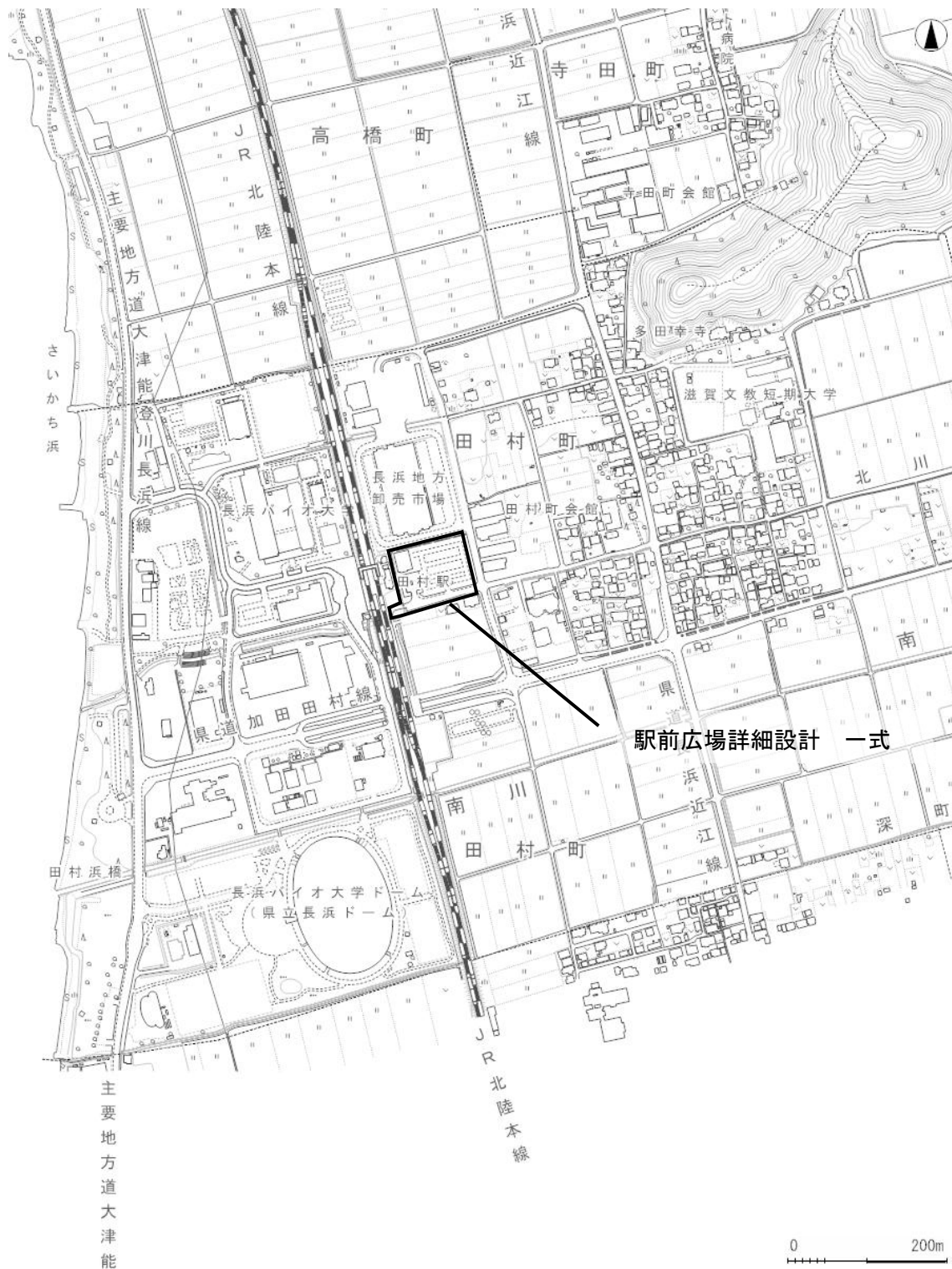
令和 4 年度 都計委第 1 7 号

田村駅東口駅前広場詳細設計業務委託

仕 様 書

長浜市都市建設部都市計画課

業務委託位置図



田村駅東口駅前広場詳細設計業務委託 仕様書

委託番号 令和4年度 都計委第17号
委託名称 田村駅東口駅前広場詳細設計業務委託
施行場所 長浜市田村町

共通事項

本業務にあたっては、「土木設計業務等委託必携(滋賀県、令和2年10月)」、ならびに長浜市公共測量作業規定および同運用基準に準拠して作業を行うものとする。

特記事項

第1章 総則

第1条(適用範囲)

本特記仕様書は、長浜市（以下「発注者」という。）が発注する「田村駅東口駅前広場詳細設計業務委託（以下「本業務」という。）」に適用する。

第2条(目的)

本業務は、田村駅周辺整備基本計画（長浜市、平成30年5月）に記載する駅前広場（東口）整備事業を実施するため、関係機関打合せ協議として意見交換会を開催し、関係者の意見を取りまとめるとともに、これらの意見を踏まえたJR北陸線田村駅（東口）の駅前広場実施設計を行い、工事発注に必要な図面・数量計算・積算内訳明細書等の設計資料等を取りまとめるものである。

第3条(履行期間)

本業務の履行期間は、契約締結日の翌日から令和5年3月17日までとする。

第4条(設計範囲)

設計範囲は、別紙位置図に示す範囲とする。

第5条(受注者の義務)

受注者は、契約の履行に当たっては、本業務の意図および目的を十分理解したうえで、本業務を実施するよう最高の技術を発揮しなければならない。

第6条(法令等の遵守)

受注者は、本業務の実施にあたり、契約書及び本仕様書によるほか、以下に掲げる基準及び関連する法令等に留意・準拠し、業務を実施しなければならない。

- ・だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例 施設整備マニュアル（滋賀県）
- ・近江の道づくりマニュアル（滋賀県土木交通部）

第7条(提出書類)

受注者は、本業務の着手に先立ち、契約締結後速やかに、発注者に次の書類を提出し、発注者の承認を受けるものとする。

1. 業務計画書
2. 着手届
3. 業務工程表
4. 管理技術者、照査技術者、担当技術者届（経歴書添付）

なお、管理技術者等の資格要件は別表第1号のとおりとする。

第8条(工程管理)

1. 受注者は、予め本業務に必要な業務工程表を付した業務計画書を作成し、業務の進め方等について、発注者と協議しなければならない。
2. 受注者は、作業の進捗状況について、適時、発注者に報告しなければならない。
3. 受注者は、工程に変更が生じた場合には、速やかに発注者に報告し、その対応策について協議しなければならない。

第9条(業務の完了)

本業務の完了は、成果品を提出し検査に合格した時点とする。ただし、検査の合格後であっても、修正すべき誤り等が発見された場合には、受注者の負担で速やかにこれを訂正するものとする。

第10条(打合せ協議等)

本業務の実施にあたっては、監督職員と十分に協議を行うこととする。

設計業務打合せは、業務着手時、中間5回、成果品納入時の計7回を行うものとし、別途、意見交換会として関係機関打合せ協議を行うものとする。

ただし、中間打合せ及び関係機関打合せ協議は、監督職員と協議の上、打合せ回数を変更できるものとするが、業務実施中に監督職員が指示、承認または協議した重要な事項及び打合せ協議については、協議後1週間以内にその内容を打合せ簿等に記録し、発注者、受注者相互に確認するものとする。

第11条(関係機関打合せ協議等)

本業務の履行に際し、意見交換会をはじめとする関係機関と協議を行う場合には、誠意をもってこれにあたる他、その内容を遅滞なく、発注者に報告しなければならない。

第12条(参考文献の明記)

業務に文献、その他の資料を引用した場合には、その文献、資料名等出典を明らかにすること。

第13条(疑義の解釈)

本仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、もしくは本仕様書に定めのない事項について、疑義が生じた場合には、その都度、発注者と受注者との協議によりこれを定めるものとする。

第14条(中立性の確保)

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を堅持するよう努めなければならない。また、本業務の履行に際して知り得た事項については、発注者の承諾のない限りこれを第三者に漏らしてはならない。

第15条(成果品の内訳)

受注者は、成果品として以下を納めるものとする。

- ・ 設計図面：縮小製本A 3 版A 4 折り 2 部
A 4 折（A 4 ファイル綴） 2 部

なお、設計図面等の内訳は別表第 2 号のとおりとする。

- ・ 報告書：2 部
- ・ 打合せ記録簿：一式
- ・ 上記のデータ（CD-ROM等の汎用電子媒体）：一式
- ・ その他監督職員が指示するもの

第16条(成果品の引渡等)

受注者は、成果品のチェックリストを作成し、「委託業務社内検査報告書」として引渡し時に、発注者に報告すること。なお、一次評定者は、作業・業務責任者である主任技術者とし、二次評定者は一次評定者以上の作業・業務を総括する管理技術者が行うものとする。成果品の納品に当たっては主任技術者又は管理技術者が立ち会うこと。

また、成果品並びに成果品の著作権については発注者の帰属とし、受注者は発注者の承諾を得ないで公表もしくは貸与してはならない。

第2章 業務の内容

第17条(設計、計画)

本業務の主な内容は以下のとおりとする。

1. 駅前広場実施設計（駅前広場面積3,000㎡～7,000㎡）

J R北陸線田村駅（東口）の駅前広場実施設計として、基本事項の確認、詳細検討、平面設計、縦横断設計、実施設計図の作成、仮設構造物・排水設計、施工法の検討、数量計算、報告書の作成、照査、鳥瞰図又は透視図の作成を行う。

2. 打合せ等（打合せ及び関係機関打合せ協議）

J R北陸線田村駅（東口）の駅前広場実施設計に伴う打合せ並びに、詳細検討及び平面設計案等において関係者を含めて検討するための意見交換会として関係機関打合せ協議を行う。

3. その他

本業務の実施に係り、以下の既存資料の内容を十分把握するとともに、必要な補測や調査は随時行うこととする。

- ・平成29年度 田村駅周辺地形測量等業務委託 報告書（平成29年11月）
- ・平成30年度 都市計画街路(仮称)田村駅東口線道路詳細設計業務委託 報告書（平成31年3月）
- ・平成30年度 田村駅自由通路等基本設計業務委託 設計報告書（令和元年9月）
- ・令和3年度 市道田村駅南線一般構造物詳細設計業務委託 報告書（令和3年9月）
- ・令和3年度 田村駅周辺空間活用事業社会実験 報告書（令和4年2月）

第3章 その他

第18条(業務カルテの作成)

受注者は、業務請負金額100万円以上の業務について、測量調査設計業務実施情報サービス（TECRIS）に基づき、「業務カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に、（財）日本建設情報総合センターに提出するとともに「業務カルテ受領書」の写しを提出しなければならない。

第19条(「不当介入に関する通報制度」の徹底について)

1. 受注者は、暴力団員等（暴力団の構成員及び暴力団関係者、その他市発注工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。）による不当介入（不当な要求又は業務の妨害）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。
2. 受注者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書（別紙様式第1号）により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するもの

とする。また、受注者は、以上のことについて、下請負人（再委託の協力者を含む）に対して、十分に指導を行うものとする。

3. 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

第20条(その他)

その他、本仕様書に記載なき事項については、監督職員と協議のうえ、その指示に従うこと。

別表第 1 号 管理技術者等の資格要件

(1)管理技術者の資格要件	
管理技術者	<p>設計及び監理においてランドスケープデザイン・土木設計の趣旨及び内容を総括的に反映できる者とし、技術士法による技術士（以下「技術士」とする。）のうち「総合技術監理部門（建設：都市及び地方計画）」の資格取得後 5 年以上の実務経験を有する者。</p> <p>なお、管理技術者は、（3）担当技術者のランドスケープデザイン担当、土木設計担当のいずれかの担当者を兼ねることができるものとするが、業務履行期間中において、その者が管理技術者として著しく不適当と監督職員が見なした場合は、受注者は、速やかに適切な措置を講じるものとする。</p>
(2)照査技術者の資格要件	
照査技術者	<p>技術士のうち「総合技術監理部門（建設：都市計画及び地方計画）」又は「建設部門（都市計画及び地方計画）」の資格を有する者。</p> <p>なお、業務履行期間中において、その者が担当技術者として著しく不適当と監督職員が見なした場合は、受注者は、速やかに適切な措置を講じるものとする。</p>
(3)担当技術者の資格要件	
担当技術者 （ランドスケープデザイン 担当）	<p>技術士のうち「総合技術監理部門（建設：都市計画及び地方計画）」又は「建設部門（都市計画及び地方計画）」、又は「R C C M（都市計画及び地方計画部門）」の資格を有する者。</p> <p>なお、業務履行期間中において、その者が担当技術者として著しく不適当と監督職員が見なした場合は、受注者は、速やかに適切な措置を講じるものとする。</p>
担当技術者 （土木設計担当）	<p>技術士のうち「総合技術監理部門（建設：道路）」又は「建設部門（道路）」、又は「R C C M（道路部門）」の資格を有する者。</p> <p>なお、業務履行期間中において、その者が担当技術者として著しく不適当と監督職員が見なした場合は、受注者は、速やかに適切な措置を講じるものとする。</p>

上の記載を問わず、本業務と同等の類似業務の担当実績が複数あり、同等の能力と経験を有する技術者として監督職員が認めた者。

別表第 2 号 設計図面等成果品

種別・細別	内訳、規格・縮尺等
駅前広場実施設計	<p>位置図 S=1/10,000 (都市計画図)</p> <p>停車場平面図 (現況・計画※1) S=1/250</p> <p>駅前広場施設平面図、横断図 S=1/100</p> <p>【舗装平面図、給水施設平面図、排水施設平面図、照明・配線施設平面図、植栽平面図、安全施設平面図、区画線平面図、擁壁等構造物平面図、ファニチャー施設平面図、案内施設平面図、土工平面図、既存構造物撤去平面図、仮設工平面図、参考図 (施工計画平面図) ほか】</p> <p>駅前広場使用計画図※2 S=1/100</p> <p>用地処理図※3 S=1/100or1/200</p> <p>財産所有区分図 S=1/100or1/200</p> <p>施設構造図 S=1/50～1/20程度</p> <p>透視図※4 A 3 版 2 枚</p> <p>数量計算書・構造計算書 A 4 版</p> <p>材質・形状・配置計画等の比較検討表</p> <p>※1 基本設計案及び現況についてJR田村駅への接続を想定するもの</p> <p>※2 駅前広場として使用するJR用地等について、示すもの</p> <p>※3 別に発注する用地測量と調整して作成 (不要とする可能性あり)</p> <p>※4 鳥瞰図に変更する可能性あり</p>

上の記載に問わず、監督職員が必要として指示するもの。

不 当 介 入〔 不当要求 業務妨害 〕 事 案 通 報 書

滋賀県長浜警察署長 様
長 浜 市 長 様

(通報者) _____

		※ 取扱署等	滋賀県 警察署 課
請 負 者	所在地	(本社)	電話 () - FAX () -
		(現場事務所)	電話 () - FAX () -
	名 称		
	代表者	(現場事務所の代表者)	
	通報者 等	(通報者の職・氏名) 電話 () -	
		(対応者) 所属会社名 電話 () -	
		氏 名	
		役 職	
不当介入の 行為者	住所	電話 () - FAX () -	
	所属		
	役職		
	氏名		
発生日時 ・ 場所	令和 年 月 日 時 分頃		
	〔元請・下請〕(下請の場合は、現場事務所の所在地)	電話 () - FAX () -	
工事件名			
不当介入の 内容・被害 の状況			
警察への 通報の状況			
(警察への通報) 有 ・ 無 (通報先警察署) 滋賀県 警察署 課 (通 報 日 時) 令和 年 月 日 時 分頃			

注 1 第一報は、この様式に必要な事項を記入したうえ、長浜警察署刑事課あて電話で行った後、その旨を「警察への通報状況」の欄に記入して発注者及び長浜警察署あて送付（電子メール・FAX可）すること。

2 不当介入の行為者の名刺、提示物等の参考資料がある場合は、その写しを添付すること。

3 下請負先（再委託先）において発生した場合であっても、必ず元請負人（発注者）が聞き取り調査をして記入し、通報すること。

4 ※の欄は、警察署において記入すること。